

14. 印西市印旛地域包括支援センター

第1号介護予防支援事業

総合相談支援

権利擁護

包括的・継続的ケアマネジメント支援

生活支援体制整備事業

認知症総合支援事業

その他

項目		令和3年度 印旛地域包括支援センター 事業計画	
		事業別活動目標	具体的活動計画
業務別	第1号介護予防支援事業	要支援者及び事業対象者に、介護予防・日常生活支援を目的として地域の社会資源等も活用しながら、自立支援につながる支援をする。	<p>*自立や予防の視点で、介護保険以外のサービス・地域資源等を意識したケアマネジメントをしていく。</p> <p>*職員のケアマネジメント力向上や資質向上のために、積極的に研修へ参加していけるよう業務体制の整備を行い、研修後の内容共有、実践に繋げていけることを意識していく。</p> <p>*プラン作成の委託に関しては、特定の指定居宅介護支援事業所に偏ることがないように、公正・中立性の確保に努める。</p>
	総合相談支援	本人・家族・近隣住民・地域のネットワーク等からの様々な相談に対し、状況把握を行い、適切なサービスや情報提供、関係機関の紹介を行う。	<p>*「いつでも、どこでも、だれとでも」を基本に、困りごとへの迅速な対応・早期発見できるよう日々各職員が意識して業務を行う。</p> <p>*関わりの少ない地域へ積極的に出向き、実態把握を積極的に行い(月3～5件目標)、自治会・老人会への周知活動を行っていく。</p>
	権利擁護	高齢者虐待や消費者被害、成年後見制度の活用促進等に関する相談窓口であることを周知し、権利侵害の防止、早期発見に努めていく。	<p>*権利擁護に関する周知・啓発活動をしていく。 市等の開催する事例検討会に参加し事例を通して知識と技術向上を図る。</p> <p>*権利侵害を受けている高齢者に対して、法を遵守しながら市や関係機関と連携して支援業務を行う。</p> <p>*民生委員等に改めて包括の活動周知を図り、戸別訪問等で気になるケース等の早期発見に繋げていく。</p> <p>*24時間体制で対応する。</p>
	包括的・継続的ケアマネジメント支援	地域の介護支援専門員が円滑に継続的なサービス提供の調整が行えるよう、総合調整や後方支援と行う。 介護支援専門員の資質向上を図れるように、事例検討会や研修会を開催する。	<p>*困難事例を担当する・一人体制の介護支援専門員に同行訪問し、地域ケア個別会議を活用しながら支援する。関係機関、関係者と意見交換・情報共有し多職種協働による支援体制を構築する。</p> <p>*介護支援専門員を支援する立場として資質向上に努め、積極的に研修会等に参加する。</p> <p>*地域ケア会議を定期的で開催し、地域の課題の分析などを行い、地域で解決に向けた話し合いが出来るようにしていく。</p> <p>*市と連携を取りながら、自立支援型地域ケア会議を行うことで、ケアマネが課題に感じていることを解決したり、多職種で検討することで様々な視点で検討・情報交換をすることが出来るようにする。また地域づくりへの展開を踏まえながら、自立支援についての共通の認識を持つ。</p>

項目		令和3年度 印旛地域包括支援センター 事業計画	
		事業別活動目標	具体的活動計画
生活支援体制整備事業	センターは生活支援コーディネーターと協働し、住民主体の地域づくりについて地域と共に考え、働きかけを行う。	<p>*コーディネーターと共に印旛圏域の状況(人的・環境等)把握に努め、お互いさま、助け合いの精神を広く周知していく。</p> <p>*地域住民や地域組織、ボランティアなどと連携しながら、住民同士の支え合い活動の体制づくりを形成していく。</p>	
	認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活できるための支援体制を構築する。 認知症で適切な医療介護に結びついていない人を支援する。	<p>*認知症の正しい知識の普及・交流・家族の支援の場となるよう認知症カフェをコロナ感染症対策を十分に行い留意しながら実施する。</p> <p>*適切な医療・サービスにつなげていない事例を把握した時は適切なサービスにつなぎ継続的な支援を行う。 *困難な事例については引き続き認知症初期集中支援チーム・市と連携を取りながら柔軟に対応する。</p>	
	市が推進している地域展開型介護予防事業「いんざいちよきん運動」の後方支援及び事業の普及、啓発に取り組む。	<p>*市主催のちよきん運動サポーター養成講座、インストラクター養成講座、地区全体交流大会等の運営補助、圏域グループの体カテスト測定業務をコロナ感染症対策をしながら行う。</p> <p>*引き続きちよきん運動の取り組みがない地域へはちよきん運動の普及啓発に取り組む。</p>	
その他	買い物バスツアーの後方支援に取り組む。	*今後再開については、時世のコロナ感染症の対応を鑑みながら、検討していく。	